

「令和元年度 あおもりの農山村フォトコンテスト」 入賞作品一覧

農山村の風景部門・テーマ「力強さ」

各 賞	題 名	氏 名
最優秀賞	そば畑に星が降る（平内町内童子）	鹿内 秀雄
優 秀 賞	十和田・春の陣（十和田市相坂）	成田 清一
//	雪をぶっ飛ばせ（田子町新田）	白山 健悦
入 選	集落戦略その1「結いで生きる」（三戸町蛇沼）	蛇沼 洋一
//	南部の風物詩（南部町鳥舌内）	三戸 俊彦
特 別 賞	中山間地で生きる（西目屋村大秋）	笠原 均

人々の暮らし部門・テーマ「豊かさ」

各 賞	題 名	氏 名
最優秀賞	冬支度（八戸市南郷）	市川 清一
優 秀 賞	里山に梅満開（平内町内童子）	鹿内 秀雄
//	休憩中の大運動会（平川市平賀）	竹浪 和歌子
入 選	奉納駒踊り（三戸町梅内城山）	丹野 武次
//	農魂受け継いで（十和田市相坂）	成田 清一
特 別 賞	一家総出（中泊町大沢内）	加藤 正一

～ 農山村の風景部門 ～

最優秀賞 そば畑に星が降る（平内町内童子）／ 鹿内 秀雄



【講評】果てしなく広がるそば畑に満天の星が降り注ぎ、まるで宇宙の別の星に舞い降りたような錯覚に陥ります。星と白いそばの花のコントラストが絶妙です。空が澄んだ、気象条件の良い日を選び、撮影者は何度、この場所に足を運んだことでしょうか。夜空に流れる雲が長い宇宙の歴史を感じさせるようです。

優秀賞 十和田・春の陣（十和田市相坂）／ 成田 清一



【講評】三本木農業高校の恒例行事「マッドフラッグ大会」の1コマ。激しい泥しぶきを上げながら、女子生徒が旗に向かって疾走し、ダイブする瞬間をとらえました。思わず手に力が入ります。何事も夢中で取り組めることは若い世代の特権です。

優秀賞 雪をぶっ飛ばせ（田子町新田）／ 白山 健悦



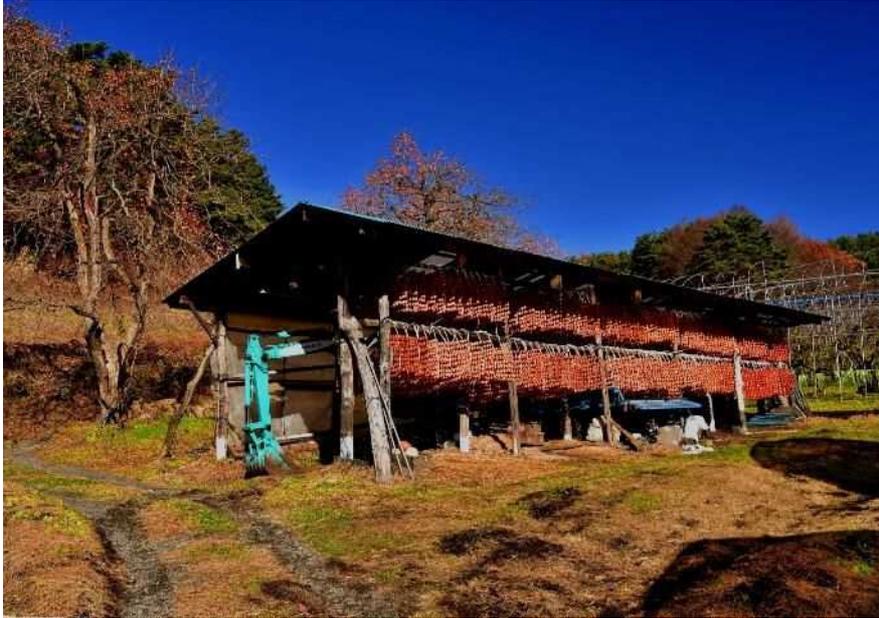
【講評】トラクターの除雪車が農道に積もった雪を青空に噴き上げながら進んでいきます。毎年、この時期に行われる、春を切り開く作業なのでしょう。青く染まった雪がぼかぼかとした陽気を感じさせ、春の訪れが近いことを告げています。

入選 集落戦略その1「結いで生きる」（三戸町蛇沼）／ 蛇沼 洋一



【講評】住民が助け合い、協力し合う共同作業「結い」に農村の強いつながりを感じます。ぜひ若い世代を巻き込んで長く続いてほしいと願わずにはられません。

入選 南部の風物詩（南部町鳥舌内）／ 三戸 俊彦



【講評】 山あいの集落、鳥舌内地区で続く干し柿作り。真っ青な空と柿のオレンジの対比が鮮やかです。柿が放つ甘い香りが漂ってくるようです。

特別賞 中山間地で生きる（西目屋村大秋）／ 笠原 均



【講評】 中山間地域の農業は全国の耕地面積の約4割を占めるといわれます。堂々とした岩木山に見守られ、代々続く農業はしっかりと次の世代に受け継がれているようです。白黒写真にしたことで、悠久の時の流れを感じさせる作品に仕上がりました。

～ 人々の暮らし部門 ～

最優秀賞 冬支度（八戸市南郷）／ 市川 清一



【講評】漬物作りのため、大量の大根の葉を軒先につるし、まるで緑のカーテンです。かつては冬場の保存食として貴重でしたが、最近は市場に出回る前に切り落としてしまうようです。圧倒的な緑の中で赤い唐辛子と屋根が作品を引き締めています。青の容器に無造作に積み上げた葉に生活感がにじみ出て、ユニークな作品に仕上がりました。

優秀賞 里山に梅満開（平内町内童子）／ 鹿内 秀雄



【講評】長い冬が終わり、里山に春の訪れを告げる梅の花。ただ、まだストーブが手放せない寒さのようで、薪を用意する人の姿が見られます。北国の季節の移ろいを感じさせてくれる作品です。

優秀賞 休憩中の大運動会（平川市平賀）／ 竹浪 和歌子



【講評】リンゴ園の中を全力で駆ける子どもたち。生き生きとした表情に家族の絆を感じます。空を大きく取り、人物を小さめにまとめたことで、スケールの大きな作品に仕上がりました。

入選 奉納駒踊り（三戸町梅内城山）／ 丹野 武次



【講評】菅笠に陣羽織、馬形の木杵を腰に着けて、踊る駒踊り。軽やかな笛や太鼓、手びらがねの音が聞こえてくるようです。

入選 農魂受け継いで（十和田市相坂）／ 成田 清一



【講評】三本木農業高校で続く全校田植え。生徒が横一直線に並び、黙々と田植えに打ち込む姿は壮観で、放射線状に延びる緑の幾何学模様が鮮やかです。

特別賞 一家総出（中泊町大沢内）／ 加藤 正一



【講評】猫の手を借りたいほどの忙しさに、子どもたちまで農作業に駆り出されているのでしょうか。ただタイトルとは裏腹に作品にはのんびりとした雰囲気漂い、見る人に安心感を与えています。のどかな農村の一日が過ぎていきます。